

安全データシート

製品名 **ケムアクア陽極液 AO**

作成日 2011 年 2 月 17 日

改訂日 2025 年 4 月 3 日
(最終確認日)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ケムアクア陽極液 AO
SDS No.	GHS-0070
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の連絡電話番号	075-691-4125
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	分析用
使用上の制限	推奨用途以外に使用する場合は専門家に判断を仰ぐ。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性 経口 区分 4

急性毒性 吸入（蒸気） 区分 4

皮膚腐食性／皮膚刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1

皮膚感作性 区分 1

生殖細胞変異原性 区分 2

発がん性 区分 2

生殖毒性 区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（全身毒性、中枢神経系、視覚器、腎臓、肝臓、呼吸器、心血管系、）

区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（中枢神経系、視覚器、腎臓、肝臓、呼吸器）

区分 2（甲状腺）

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）

区分 3

水生環境有害性 長期（慢性）

区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225:引火性の高い液体及び蒸気

H302+H332:飲み込んだ場合や吸入した場合は有害

H315:皮膚刺激

H317:アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H318:重篤な眼の損傷

H336:眠気またはめまいのおそれ

H341:遺伝性疾患のおそれの疑い

H351:発がんのおそれの疑い

H360:生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H370:臓器(全身毒性, 中枢神経系, 視覚器, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, 心血管系)の障害

H371:臓器(呼吸器)の障害のおそれ

H372:長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系, 視覚器, 腎臓, 肝臓, 呼吸器)の障害

H373:長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(甲状腺、呼吸器)の障害のおそれ

H402:水生生物に有害

H410:長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201:使用前に取扱説明書を入手すること。

P202:全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210:熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233:容器を密閉しておくこと。

P240:容器を接地すること／アースをとること。

P241:防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。

P242:火花を発生させない工具を使用すること。

P243:静電気放電に対する予防措置を講ずること。

P260:ミスト／蒸気を吸入しないこと。

応急措置	P264:取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
	P270:この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	P271:屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
	P272:汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P273:環境への放出を避けること。
	P280:保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	P301+P312+P330:飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
	P303+P361+P353:皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
	P304+P340+P312:吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
	P305+P351+P338+P310:眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
	P308+P311:ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
	P333+P313:皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
	P362+P364:汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P370+P378:火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フフォームを使用すること。
	P391:漏出物を回収すること。
保管	P403+P233:換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
	P403+P235:換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
	P405:施錠して保管すること。
廃棄	P501:内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性 知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分

No.	化学名	CAS 番号	含有量(w/w)	化審法／安衛法 番号
1	メタノール	67-56-1	30-40 %	2-201
2	クロロホルム	67-66-3	30-40 %	2-37
3	プロピレングリコール	57-55-6	10-20 %	2-234
4	1,3-ジ(2-ピリジル)プロパン	15937-81-2	5-15 %	該当番号なし
5	4-ジメチルアミノピリジン	1122-58-3	5-15 %	5-5479, 8-(1)-586

6	二酸化硫黄	7446-09-5	1-5 %	1-536
7	ヨウ素	7553-56-2	1-5 %	対象外
8	エタノール	64-17-5	<1 %	2-202

4. 応急措置

一般的アドバイス	危険域から避難させる。 この安全データシートを担当医に見せる。 被災者を一人にしない。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	石けんと多量の水で洗い流す。 汚染された衣服は再使用の前に洗うこと。 汚染した衣服および靴を脱ぐ。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
眼に入った場合	眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。 病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。 損傷していない眼を保護する。 洗浄中は眼を大きく開ける。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに被災者を病院に連れて行く
飲み込んだ場合	口を水ですすぐ。 無理に吐かせないこと。 この物質を多量に飲み込んだ場合、直ちに医師を呼ぶ。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な徴候症状	飲み込んだ場合や吸入した場合は有害 皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 重篤な眼の損傷 眠気又はめまいのおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

医師に対する特別な注意 症状に応じた治療を行う。
事項

5. 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素(CO ₂) , 乾燥砂, 泡消火剤, パーミキュライト
使ってはならない消火剤	大型棒状の水
特有の危険有害性	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
特有の消火方法	汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
消火を行う者の保護	保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護具を使用する。 十分な換気を確保する。 付近の発火源となるものを取り除く。 安全な場所に避難する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏れやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
火災及び爆発の予防	静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。 炎、熱及び発火源から遠ざける。
安全取扱い注意事項	静電気放電に対して予防処置手段をとること。 火、火花および熱した表面に近づけないようにする。 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。
接触回避	データなし
衛生対策	使用中は飲食しないこと。 使用中は禁煙。

休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所に保管する。

室温で保存する。

製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管する。

容器を密閉しておくこと。

保管安全性に関する詳しい情報

指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. 暴露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界／許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度/基準濃度/ 許容濃度	出典
クロロホルム	67-66-3	ACL	3 ppm	安衛法（管理濃度または基準濃度）
		OEL-M	3 ppm 14.7 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報：経皮吸収、発がん物質、「第2群B」に分類される物質は、証拠が比較的十分でない物質、すなわち、疫学研究からの証拠が限定的であり、動物実験からの証拠が十分でない。または、疫学研究からの証拠はないが、動物実験からの証拠が十分である		
		TWA	10 ppm	ACGIH
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	安衛法（管理濃度または基準濃度）
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報：第2群；ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質，経皮吸収		
		TWA STEL	200 ppm 250 ppm	ACGIH ACGIH
二酸化硫黄	7446-09-5	STEL	0.25 ppm	ACGIH
ヨウ素	7553-56-2	OEL-M	0.1 ppm 1 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報：皮膚感作性物質，第2群；人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質		
		OEL-M	1 ppm 1 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報：皮膚感作性物質，第2群；人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質		

		TWA(吸引性 画分及び蒸気)	0.01 ppm	ACGIH
		STEL(蒸気)	0.1 ppm	ACGIH
		TWA(吸引性 画分及び蒸気)	1 ppm	ACGIH
		STEL(蒸気)	1 ppm	ACGIH
エタノール	64-17-5	STEL	1,000 ppm	ACHIH

保護具

呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具。
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	淡黄色，赤褐色，透明
臭い	刺激臭
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性（液体）	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限／可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限／可燃下限値	データなし
引火点	16.8 °C（タグ密閉式引火点試験）
分解温度	データなし
pH	データなし
自然発火温度	データなし
粘度	
動粘度(動粘性率)	2.53 mm ² /s (20 °C)
溶解度	
水溶性	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/または相対密度	1.105 (20 °C)
比重	
相対ガス密度	データなし
粒子特性／粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	可燃性かつ有害なガスを発生するおそれ
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性 製品	飲み込んだ場合や吸入した場合は有害
急性毒性（経口）	急性毒性推定値；775.55mg/kg（計算による方法）
急性毒性（吸入）	急性毒性推定値；7169ppm（計算による方法）、暴露時間；4h、試験環境；気体
急性毒性（経皮）	急性毒性推定値；> 2,000mg/kg（計算による方法）
メタノール	
急性毒性（経口）	LD50；1,400mg/kg 成分/混合物は単回経口摂取後若干有毒。
急性毒性（吸入）	LC50（ラット）；64000ppm、暴露時間；4h、試験環境；蒸気 LC50（ラット）；145000ppm、暴露時間；1h、試験環境；粉じん/ミスト
急性毒性（経皮）	LDLo；393mg/kg
クロロホルム	
急性毒性（経口）	LD50（ラット）；440mg/kg 成分/混合物は単回経口摂取後若干有毒。
急性毒性（吸入）	LC50（ラット）；9,770ppm 暴露時間；4h、試験環境；蒸気
急性毒性（経皮）	LD0（ウサギ）；3,980mg/kg
プロピレングリコール	
急性毒性（経口）	LD50（ラット）；22,000mg/kg
急性毒性（経皮）	LD50（ウサギ）；20,800mg/kg
4-メチルアミノピリジン	
急性毒性（経口）	LD50（ラット）；250mg/kg 成分/混合物は単回経口摂取後若干有毒
二酸化硫黄	
急性毒性（吸入）	LC50（ラット）；593～<1319ppm、暴露時間；4h、試験環境；気体 成分/混合物は短時間の吸引後有毒

ヨウ素

急性毒性（経口）	LD50（ラット）；14,000mg/kg
急性毒性（吸入）	LC50（ラット）；>4,588mg/L, 暴露時間；4h, 試験環境；粉じん/ミスト LCLo（ラット）；800mg/m ³ , 暴露時間；1h, 試験環境；蒸気
急性毒性（経皮）	LD50（ウサギ）；1,450mg/kg

エタノール

急性毒性（経口）	LD50（ラット）；15,010mg/kg
急性毒性（吸入）	LC50（ラット）；124.7mg/L, 暴露時間；4h, 試験環境；蒸気
急性毒性（経皮）	LDLo（ウサギ）；20,000mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 利用可能な情報に基づく限り分類されない

製品 組織を極度に腐食し破壊する。

クロロホルム 皮膚刺激性

ヨウ素 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性 重篤な眼の損傷

／眼刺激性

製品 眼に永久的な損傷が起こることがある。

メタノール 眼刺激

クロロホルム 重篤な眼の損傷

二酸化硫黄 強い眼刺激

ヨウ素 強い眼刺激

エタノール 強い眼刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器感作性 利用可能な情報に基づく限り分類されない

製品 感作を起こす。

ヨウ素 ヒトへの皮膚感作性の兆候または証拠があり。

生殖細胞変異原性 遺伝子疾患のおそれの疑い

クロロホルム ヒト生殖細胞で遺伝性の突然変異を誘発することが疑われている

発がん性 発がんのおそれあり

クロロホルム ヒトに対する発がん性が疑われる

生殖毒性 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

メタノール ヒトに対して生殖毒性があるとみなせる

クロロホルム ヒトに対する生殖毒性が疑われる

ヨウ素 ヒトに対する生殖毒性が疑われる

特定標的臓器毒性（単回 眠気またはめまいのおそれ

ばく露）臓器（全身毒性，中枢神経系，視覚器，腎臓，肝臓，呼吸器，心血管系）の障害

臓器（呼吸器）の障害のおそれ

メタノール	標的臓器 全身毒性, 中枢神経系, 視覚器 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、区分1に分類。 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、麻酔性効果を伴う区分3に分類される。
クロロホルム	標的臓器 肝臓, 呼吸器, 腎臓, 心臓血管系 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、区分1に分類。 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、麻酔性効果を伴う区分3に分類される。
プロピレングリコール	標的臓器 全身毒性, 中枢神経系 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、区分1に分類。 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、気道炎症を伴う区分3に分類される。
二酸化硫黄	標的臓器 呼吸器 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、区分1に分類。
ヨウ素	標的臓器 呼吸器 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、区分1に分類。
エタノール	この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、気道炎症を伴う区分3に分類。 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回暴露、麻酔性効果を伴う区分3に分類される。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	長期にわたる、または反復暴露による臓器（中枢神経系, 視覚器, 腎臓, 肝臓, 呼吸器）の障害 長期にわたる、または反復暴露による臓器（甲状腺, 呼吸器系）の障害のおそれ
メタノール	標的臓器 中枢神経系, 視覚器 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復暴露、区分1に分類される。
クロロホルム	標的臓器 肝臓, 呼吸器, 腎臓, 中枢神経系 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復暴露、区分1に分類される。
二酸化硫黄	標的臓器 呼吸器 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復暴露、区分1に分類される。
ヨウ素	標的臓器 甲状腺 この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復暴露、区分1に分類される。
誤えん有害性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
備考	過剰暴露により起こりうる症状には、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐がある。 TLVより著しく高い濃度は、昏睡効果を起こすことがある。

溶剤は皮膚を脱脂することがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

メタノール

魚毒性 LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)) ; 15,400mg/L, 暴露時間 96h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) ; 10,000mg/L, 暴露時間 48h

藻類／水生生物に対する毒性 EC50 (Chaetoceros calcitrans) ; 10,000～<20,000mg/L, 暴露時間 96h

最大無影響濃度 (Skeletonema costatum (スケルトネマ・コスタトゥム)) ; 1,400mg/L, エンドポイント 生長阻害, 暴露時間 96h

魚毒性 (慢性毒性) 最大無影響濃度 (Oreochromis mossambicus) ; 23.75mg/L, エンドポイント 生長阻害, 暴露時間 90Days

クロロホルム

藻類／水生生物に対する毒性 EC50 (Chlamydomonas reinhardtii (緑藻)) ; 13.3mg/L, 暴露時間 72h

魚毒性 (慢性毒性) 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) ; 0.059mg/L, 暴露時間 28Days

M-ファクター (水生環境

1

有害性 長期 (慢性))

プロピレングリコール

魚毒性 LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) ; 51,600mg/L, 暴露時間 96h (OECD 試験ガイドライン 203), GLP 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) ; 43,500mg/L, エンドポイント 遊泳阻害, 暴露時間 48h (OECD 試験ガイドライン 202)

藻類／水生生物に対する毒性 EC50 (Skeletonema costatum (スケルトネマ・コスタトゥム)) ; 19,100mg/L, エンドポイント 生長阻害, 暴露時間 96h (OECD 試験ガイドライン 201), GLP 該当

最大無影響濃度 (Selenastrum capricornutum (緑藻)) ; 1,000mg/L, 暴露時間 72h (OECD 試験ガイドライン 201), GLP 該当

魚毒性 (慢性毒性) 最大無影響濃度 (Oryzias latipes (メダカ)) ; , エンドポイント 死亡率, 暴露時間 21Days (OECD 試験ガイドライン 204), GLP 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)) ; 1,000mg/L, エンドポイント 繁殖阻害, 暴露時間 21Days (OECD 試験ガイドライン 211), GLP 該当

ヨウ素

魚毒性 LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) ; 0.53mg/L, 暴露時間 96h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) ; 0.16mg/L, 暴露時間 48h

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) 1

エタノール

魚毒性 LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) ; 13,000mg/L, 暴露時間 96h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) ; 12,340mg/L, エンドポイント死亡率, 暴露時間 48h

藻類／水生生物に対する毒性 EC50 (Lemna minor (コウキクサ)) ; 3,690mg/L, エンドポイント 生長障害, 暴露時間 7Days

最大無影響濃度 (Lemna gibba (イボウキクサ)) ; 280mg/L, , エンドポイント 生長阻害, 暴露時間 7Days

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ニセネコゼミジンコ)) ; 9.6mg/L, エンドポイント 繁殖阻害, 暴露時間 10Days

残留性・分解性

生分解性

メタノール 生化学的酸素要求 (量) ; 易分解性, 生分解 ; 92%, 暴露時間 ; 14d

クロロホルム 生化学的酸素要求 (量) ; 急速分解性がない, 生分解 ; 0%, 暴露時間 ; 14d

プロピレングリコール 接種 活性汚泥, 含有量 100 百万分の一

生化学的酸素要求 (量) ; 易分解性, 生分解 90%, 暴露時間 4w

エタノール 生化学的酸素要求 (量) ; 易分解性, 生分解 ; 89%

生体蓄積性

メタノール 種 ; Cyprinus carpio (コイ) , 生物濃縮因子 (BCF) ; <10, 暴露時間 ; 72h

n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = -0.77$

クロロホルム n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = 1.97$

プロピレングリコール n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = -0.92$

4-メチルアミノピリジン n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = 1.34$

ヨウ素 n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = 2.49$

エタノール n-オクタノール／水分配係数 $\log Pow = 0.31$ (25℃)

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 非該当

他の有害影響	職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。 水生生物に毒性
--------	--

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	地方自治体の許可を得ている産業廃棄物処理業者により、焼却処分が可能。 認可された廃棄物処理業者へ委託する
汚染容器及び包装	残りの容器を空にする 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空輸送	
UN/ID 番号	UN1993
国連輸送名	Flammable liquid, n.o.s. (Methanol, solution)
国連分類	3
容器等級	II
ラベル	Flammable Liquids
梱包指示（貨物機）	364
海上輸送	
国連番号	UN1993
国連輸送名	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Methanol, solution)
国連分類	3
容器等級	II
ラベル	3
EmS コード	F-E, S-E
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当） 供給された状態の製品には非該当	
国内規制	国の特定の法規制は、「15. 適用法令」を参照する。
緊急時応急措置指針番号 (NAERG)	128
特別の安全対策	ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシート

の中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

消防法

第 4 類 第一石油類 非水溶性液体（200 リットル） 危険等級 II

化学物質の審査および製造等の規制に関する法律

優先評価化学物質

化学名	番号
クロロホルム	8
プロパン- 1, 2 -ジオール	106

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

クロロホルム

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量（%）	備考
クロロホルム	33	—
メタノール	31	—
プロパン- 1, 2 -ジオール	10-20	2025 年 4 月 1 日以降
二酸化硫黄	5	—
沃素化合物	0-10	—
エタノール	0-10	—

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令第 18 条）

化学名	備考
クロロホルム	—
メタノール	—

プロパン-1,2-ジオール 2025年4月1日以降

二酸化硫黄 -

沃素化合物 -

エタノール -

がん原性物質（労働安全衛生規則第577条の2）

非該当

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第594条の2）

メタノール

沃素

特定化学物質障害予防規則-第二类物質

クロロホルム

特定化学物質障害予防規則-第三類物質

二酸化硫黄

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令-別表第一（危険物）

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量（%）
-----	----	--------

クロロホルム	127	33
--------	-----	----

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2,3条危険物告示別表第1 引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1 引火性液体

高压ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

個品輸送 会世汚染物質に該当しない

水質汚濁防止法

指定物質（法第 2 条第 4 項，施行令第 3 条の 3）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

引用文献／参考資料

NITE-Gmiccs（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

NITE-CHRIP（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

職場のあんぜんサイト（厚生労働省）

各種上流メーカーの SDS

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS データはここで指定された物質にのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。